

コース番号3



感動の異空間 大仏切通しを抜け鎌倉の海・由比ガ浜へ 6km

集合：JR 鎌倉駅東口 8時45分集合 9時00分出発のバスに乗車

コース：鎌倉駅→🚗 火の見下→①大仏切通し→②鎌倉大仏殿高德院 🗿 (拝観料300円)→③稲瀬川の碑 🗿
→④関東ふれあいの道 (稲村ヶ崎・磯づたいのみち)→由比ガ浜散策 🍗🍗🍗 →長谷駅→🚗 江ノ電 (200円)
→鎌倉駅→⑤寿福寺 (北条政子、源実朝の墓)→⑥若宮大路・段葛→⑦鶴岡八幡宮 🗿→流鏑馬馬場の西の端
「西の鳥居」ゴール ※雨天の場合は大仏切通しを避け、長谷寺 (拝観料400円)に行きます (9時発表)

見どころ	写真
<p>①大仏切通し 鎌倉七口の中でも古道の趣を比較的良好に残している国指定史跡の切通。「切通」とは山に囲まれた鎌倉と隣接地区を結ぶために、山や丘を開削して造られた道のことで、特に交通と防御の要所とされた七つの切通を鎌倉七口と呼びます。戦の際はこれらの道を封鎖して敵の侵入を防ぎました。また火の見下バス停付近の森の中には、時間が止まったかのような静寂に包まれて幾つかのやぐらが残されています。</p>	
<p>②鎌倉大仏殿高德院 国宝の阿弥陀如来坐像 (鎌倉大仏) は高さ 11.3m。最初は木造 (1243 年完成) でしたが台風で倒壊し、現在の青銅製の大仏は 1252 年より造立されたもの (完成時期は不明) です。また、当初は大仏殿という建物に覆われていましたが震災などにより倒壊し、現在は大仏を囲むように境内に 56 基の礎石が残されています。</p>	
<p>③稲瀬川の碑 江ノ電「長谷駅」に近い由比ガ浜沿いに建つ史跡碑・旧跡碑。稲瀬川は長谷から由比ガ浜へと流れる川でした。北条政子が初めて鎌倉入りをする際には、良い日柄に入るための調整で数日間この川辺の民家に滞在しています。また源頼朝が、平家を討つために出発する弟の源範頼を見送ったり、亡き父源義朝の遺骨を出迎えたのも共にこの川辺でした。新田義貞軍の大將大館宗氏が、この川辺で討死したのは有名です。</p>	
<p>④関東ふれあいの道 (稲村ヶ崎・磯づたいのみち) 環境省の長距離自然歩道構想に基づき、関東地方 1 都 6 県が整備している総延長 1,799km の自然歩道。「稲村ヶ崎・磯づたいのみち」は、若宮大路から海岸沿いの国道を由比ガ浜、稲村ヶ崎、江ノ島へと、古都鎌倉の海の名所をたどるコースです。</p>	
<p>⑤寿福寺 (北条政子、源実朝の墓) 北条政子が頼朝の死後、頼朝の父である義朝の旧邸跡に明庵栄西を招いて創建した、鎌倉五山の第三位に格付けされる寺院。歴史的建造物を数多く持つ鎌倉の中でも「知る人ぞ知るお寺」として密かに注目を集めるこの寺は、外門から山門に至る桂敷きの石畳が鎌倉一美しいとされ、今日まで人々を魅了し続けています。裏山のやぐらには波乱万丈の鎌倉時代を生きた北条政子と、息子である源実朝の墓といわれる「五輪塔」が今は静かに安置されています。</p>	
<p>⑥若宮大路・段葛 「若宮大路」は、源頼朝が妻・北条政子の安産を祈願して造った参道。由比ガ浜方面から鶴岡八幡宮まで一直線に延び、その中央に土石を積んで一段高く造られた道が「段葛」。軍事上の策から遠近法を利用して造られ、目の錯覚により段葛が実際よりも長く、八幡宮が遠くに感じさせる効果は、徐々に道幅が狭くなることで実感できます。</p>	
<p>⑦鶴岡八幡宮 鎌倉の中心地に源氏の守り神として創建された神社。広大な敷地には「源氏池」「平家池」そこに架かる「太鼓橋」をはじめ、数多くの見どころがあります。特に静御前が舞を納めた舞殿や大石段上の本宮は、朱塗りに極彩色の装飾が青空と山の緑に映え非常に美しく、その堂々とした佇まいは「鎌倉の象徴」であったことを感じさせます。</p>	